

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成25年9月19日(2013.9.19)

【公開番号】特開2012-95180(P2012-95180A)

【公開日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【年通号数】公開・登録公報2012-019

【出願番号】特願2010-241841(P2010-241841)

【国際特許分類】

H 03K 17/955 (2006.01)

G 06F 3/041 (2006.01)

【F I】

H 03K 17/955 A

G 06F 3/041 3 8 0 A

G 06F 3/041 3 3 0 D

G 06F 3/041 3 3 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年7月25日(2013.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

入力装置であって、

該入力装置の操作面をなす基材と、

前記基材に対向配置される基板と、

前記基板に、誘電体の部材を介して前記基材と対向配置され、静電容量を検出する一以上の第一パッドと、

前記基板に、誘電体の部材を介さずに前記基材と対向配置され、静電容量を検出する一以上の第二パッドと、

前記第一パッド、及び前記第二パッドに接続され、前記第一パッド、及び前記第二パッドを制御する制御部と、を備える、

ことを特徴とする入力装置。

【請求項2】

請求項1に記載の入力装置であって、

前記第二パッドは、前記制御部又は前記制御部に接続されるCPUが前記第二パッドの出力に基づいて前記第一パッドの出力を調整する補正值を求めるためのパッドである、ことを特徴とする入力装置。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の入力装置であって、

前記第二パッドは、前記基板の前記基材と対向する面に配置される、ことを特徴とする入力装置。

【請求項4】

請求項1又は2に記載の入力装置であって、

前記第二パッドは、前記基板の前記基材と対向する面とは反対の面に配置される、ことを特徴とする入力装置。

【請求項5】

請求項 1 ~ 4 いずれか一項に記載の入力装置であって、  
前記誘電体の部材は、前記基材と接するとともに、前記第一パッドと接する、ことを特徴とする入力装置。

【請求項 6】

請求 1 ~ 5 いずれか一項に記載の入力装置であって、  
前記第二パッドは、その出力の測定条件が前記第一パッドよりも悪い位置に配置される  
、  
ことを特徴とする入力装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の入力装置であって、  
前記第二パッドと前記制御部とを接続する配線は、前記第一パッドと前記制御部とを接続する配線よりも長い、  
ことを特徴とする入力装置。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 いずれか一項に記載の入力装置であって、  
前記誘電体の部材は、導光体であり、前記基板に配置された光源の光を前記基材へ導き  
、  
前記基材の前記誘電体の部材に対応する部分は、前記光源の光を透過する、  
ことを特徴とする入力装置。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 いずれか一項に記載の入力装置であって、  
該入力装置は、プリンター、スキャナー、コピー機、複合機のいずれか一つの電子機器  
である、  
ことを特徴とする入力装置。